

なかま

第239号
8月28日(金)
学年 藤原 裕子
(部 中体)

指導学年になるのに相応しい学年の力をつけよう キャンパスに向けて学年委員会がスタート!

早いもので、もうすぐ八月も終わります。九月に入り、生徒会役員改選の次は組が入って来て、十一月のはじめには選挙が行われ、三年生から指導学年の座をバトンタッチされます。

つまり、あと二ヶ月でこの学年から生徒会役員を産み出し、学年全体で彼らを支える事ができる集団にならないといけません。この二年生が何があっても支えてくれる、協力してくれる、信じられないと、誰も立候補する人などいないでしょう。

逆に、必ず協力してくれるという集団であれば、みんな安心して生徒会役員に挑戦できることでしょう。そういう集団になると、学校全体が落ち着いてものごとが頑張れるようになります。

そうした点を踏まえて、昨日の昼休みに音楽室において、各学級の評議・専門委員が集まって「学年委員会」が行われました。

はじめに現副会長の坂口慶真君から「指導学年になる力をつけよう。そのために去年以上の取り組みをやろう。」という話があり、生徒会担当の齋藤先生から取り組み日程案が出されました。



ただ、今回は一年生の時と違って、自分たちの手でアイデアを出し、成果と課題を確認してさらに前進していく方向性を出すところまでやっています。それを受けて各委員会でも確認して、課題点を洗い出し、原案づくりへと進めていきます。

原案は学活の時間に学級審議をし、取り組み方を決定します。みんなでしっかり組み合わせた取り組みにしたいです!

道徳でロサンゼルスオリンピック女子マラソンのアンデルセン選手の最後まであきらめないでゴールした姿から「人間であることの美しさとは何か」について考えました!

「みんなの感想から」

☆アンデルセン選手のように自分の強い意志を持って最後までやり遂げる、ゴールまでたどり着くという美しい人を知ってとてもすごいと思いました。この授業を通して、私も目標を作ったからあきらめずに最後までやり遂げたいと強く思いました。(二組 松岡璃乃)

☆自分の限界まで達した時に、自分を動かすのは自分なんだなと思った。これからはもっと自分の意志を大切にしたい。(三組 宗村幸一郎)

☆最後まであきらめずにやり遂げる姿は、人間にしか表現できない美しさだと思います。最後の最後まであきらめないで頑張る姿は、本当に素晴らしいと思いました。(五組 石川 蓮)



